



Title	太宰治スタディーズ 第6号 目次
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2016, 6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/57183
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「太宰治スタディーズ」第6号（2016.06） 目次

イントロダクション——〈戦争の時代〉へ行きて還りし物語

内海 紀子 4

特集 太宰治と戦争 1941-1945

- 1941年12月—1942年4月 「開戦」と文学——〈連続／切断〉の問題／平 浩一 8
- 1942年5月—8月 南方と文壇の「知的冒険者」／井原 あや 12
- 1942年9月—12月 〈思想戦〉の中の「火花」／野口 尚志 16
- 1943年1月—4月 期待された両大家の「国民文学」と〈非国民〉としての「鉄面皮」／小澤 純 20
- 1943年5月—8月 アツツ島玉砕をめぐる文学場・文学者の動向／松本 和也 24
- 1943年9月—12月 私小説「作家手帖」と戦記物「軍隊手帖」と／大國 眞希 28
- 1944年1月—4月 創作発表媒体縮小期における執筆活動／斎藤 理生 32
- 1944年5月—8月 新設文学賞と朗読文学／吉岡 真緒 36
- 1944年9月—12月 貪欲なる〈生〉——書くことへの執着／長原しのぶ 40
- 1944年1月—4月 空襲と疎開、そのなかで書き続けるといふこと／滝口 明祥 44
- 1945年5月—8月 〈あの〉戦争の終わりと敗戦の始まり／内海 紀子 48

研究論文

- 松本 和也 戦時下の芸術家（宣言）—— 太宰治 「一燈」 試論 54
- 滝口 明祥 禁止と奨励—— 太宰治 『右大臣実朝』 62
- 井原 あや 閉ざされた声—— 朗読文学としての「東京だより」 82
- 斎藤 理生 太宰治 『粹人』論—— 物語・顔・反復 94
- 小澤 純 太宰治 『お伽草紙』序論—— 戦時下における山岸外史との相互参照 106
- 吉岡 真緒 太宰治 「津軽通信」論—— 宛先不明の通信と敷衍 115
- 大國 眞希 太宰作品に見られる音色の種類 129

書評

- 大國眞希著 『太宰治 調律された文学』（翰林書房） 野本 聡 135
- 著者紹介・編集後記 138